

図書館ホームページ（パソコン） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

（携帯） <http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/i/>

「ざ・ちゅうおう ぶれす」は、世田谷区のホームページでもご覧いただけます。

ご利用ください！ 障害者サービス

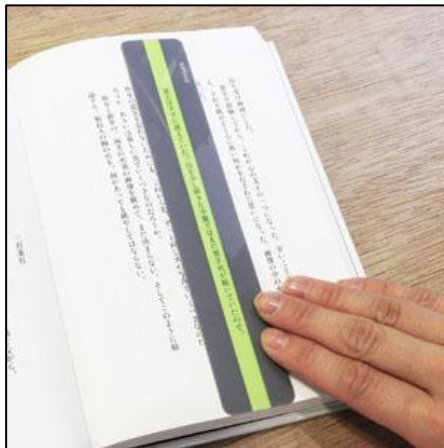
区立図書館では、障害などにより図書館の利用に不自由のある区民の方へ、対面朗読や録音図書の貸出、自宅配本を行っています。くわしくは図書館までお問い合わせください。今回は中央図書館内で利用できる各種機器などをご紹介します。ご利用の際はお気軽にお申しつけください。



音声コード読み上げ装置
 （紙に印刷された文書情報をデジタル変換した音声コードを読み取る装置です。）



拡大読書器



リーディングトラッカー
 （読みたい行だけに視点を集中して、文章を読む事ができる道具です。）



筆談器



DAISY図書再生機
 （活字や写真、グラフや表など図書にあるすべての情報を音声にしてCD-Rに録音したDAISY図書を再生する専用再生機です。）

中央図書館カレンダー

7月							8月							9月							10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6					1	2	3							1
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	2	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	9	10	11	12	13	14	15
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	16	17	18	19	20	21	22
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	
31														30	31						30	31					

開館時間

火～日 10:00～19:00
 月・祝・休日 10:00～17:00

■ は、世田谷区立中央図書館休館日です。
 ■ は、17時に閉館です。

梅丘図書館改築基本構想の報告書が完成！

梅丘図書館は羽根木公園の南端に位置し、緑豊かな公園内にあり、梅ヶ丘駅に近く交通至便なことから多くの人々に親しまれてきましたが、築47年を経過し、バリアフリーの視点からも課題が多く改築することになりました。



改築を進めるための基本構想を取りまとめるにあたって、梅丘図書館で大切なこと（機能）やどんな特徴があるとよいかなど、普段からの利用者はもとより、普段はあまり利用していない区民の方まで次のように幅広い意見や要望を募りました。

2日間にわたって開催した図書館機能検討ワークショップでは、グループに分かれて意見交換を行い、グループワークでは興味のあるテーマごとに図書館の特徴を考えました。さらに、梅丘図書館をより身近に感じられるよう、空間イメージを立体模型を用いてゾーニングを行いました。

※ワークショップとは
少人数のグループで作業しながらアイデア出しや合意形成を目指す話し合いの方法です。

また、図書館の利用者と梅丘中学校の職員・生徒を対象に新しい梅丘図書館に関するアンケートを行い、地域にお住まいの方々をはじめとして様々な方からたくさんの意見をいただきました。

この報告書は、各図書館や区のホームページ等でもご覧になれます。

新しい梅丘図書館の竣工は、まだ少し先（平成33年度予定）になりますが、未永く皆さまから愛される図書館を目指し、整備を進めていきます。

世田谷図書館が、9月にリニューアルオープンします！

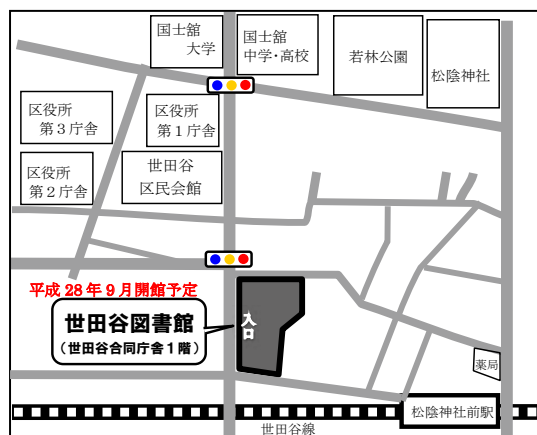
世田谷図書館は現在、城山小学校の体育館棟の仮事務所で本の返却、予約本の貸出等を行っていますが、平成28年9月に世田谷合同庁舎でリニューアルオープンします。世田谷合同庁舎は、世田谷税務署、世田谷都税事務所、東京法務局世田谷出張所、世田谷保健福祉センター分室（健康診断会場）が入る複合施設で世田谷図書館は1階になります。

閲覧席を増席し、絵本の読み聞かせができる「おはなしのへや」ができます。

開館時間を拡大し、月曜日も開館します。

詳しくは、近日中に、各図書館の掲示板やちらし、ホームページ等でお知らせいたします。

新しくなる世田谷図書館を、どうぞご利用ください。



中央図書館1階のレイアウトを一部変更しました!

① Y・A (中高生向き) 本～仕事・職業・おすすめ本～ コーナーの新設 (CD架の前)

将来のために参考にして欲しい様々な仕事に関する本や、部活動が舞台のブックリスト『部活物語 (改訂)』(世田谷区立図書館発行)に掲載されている本などを集めたコーナーです。



②新着図書コーナー

利用者用検索機 (OPAC) の裏側に移動しました。また、以前予約が多かった本「話題本 (旧)」も新着図書コーナーの隣へ移りました。

*新着図書は1週間で次の新着にかわります。



③子育て支援コーナーの充実

児童資料コーナー (地下1階) から、おもしろい絵本などを紹介した本を選んで子育て支援コーナー (サザエさん本) の隣に並べました。家庭での「読み聞かせ」で、子育てが一層楽しくなればと思います。

*児童資料コーナーは、児童研究書や雑誌の復刻版、地域文庫・読書会の資料などを収集しています。階段を下りて右・一番奥ですが、ぜひお立ち寄りください。



世田谷文学館のパネル展示開催中! @中央図書館

世田谷文学館が所蔵するパネルをお借りし、教育センターロビーや子どもフロアに展示します。迫力のある写真やイラストをお楽しみください。

- ① 「宮西達也と子どもたち」: 7月1日 (金) ~ 7月27日 (水)
(この展示のみ、教育センターロビーにて行います。)
- ② 「写真展 北の森 ノースウッズの世界」写真・大竹英洋:
7月1日 (金) ~ 9月28日 (水)
- ③ 「宮沢賢治 幻想紀行」写真・中村太郎: 9月30日 (金) ~ 12月21日 (水)
- ④ 「クマのプーさんと魔法の森へ」: 12月23日 (金) ~ 平成29年2月22日 (水)



『おまいうまそうだな』
宮西達也 作絵
(ポプラ社)



← 『ノースウッズの森で』
大竹英洋 文・写真
(福音館書店)
→ 『プーのはちみつとり』
A. A. ミルンぶん
E. H. シェパードえ
石井桃子やく
(岩波書店)





「第10回子ども読書活動推進フォーラム～一人ひとりのニーズにこたえるために～」

平成28年2月20日 教育センター「ぎんが」にて

当日は雨模様でしたが、50名の参加がありました。

第1部は専修大学文学部教授の野口武悟氏による「合理的配慮と基礎的環境整備について～障害者差別解消法施行にむけて～」というテーマでの基調講演で、読書活動の環境整備の必要性を法的な面から分かりやすく丁寧にご説明いただきました。

第2部の実践報告では、元埼玉県公立学校教諭の村上勅江氏から、「特別支援学級でのたのしい読み聞かせ」をテーマに埼玉県志木市立の図書館と学校が一体となった併設型学校での実践をもとにお話をうかがいました。

次の実践報告では、松本市書店「ちいさいおうち」経営の越高令子氏と「本と子どもの発達を考える会」事務局長の豊嶋さおり氏による「絵本でバリアフリー～わたしたちはこんなふうに絵本を読んでいます～」をテーマに、特別支援学級での活動について絵本の読み聞かせを交えながらご報告いただきました。

＊今年4月に「障害者差別解消法」が施行されました。その周知も含め開催したフォーラムです。報告誌も作成しました。図書館・図書室に所蔵されており、HPでも閲覧できます。当日の臨場感を味わえる中身の濃い内容になっていますのでぜひご一読ください。



意見をかわす講師のみなさん

「第1回 中高生のビブリオバトルと講演会」

平成28年3月19日 教育センター「ぎんが」にて

第1部の中高生のビブリオバトルでは、予選を通過した4人のバトルヤーによる発表を聞き、会場内全員の投票で一番読みたくなった本「チャンプ本」を選びました。チャンプ本は『論語なうー140字でわかる孔子の教えー』でした。司会者からも話がありましたが、4冊とも僅差で、とてもすばらしい発表でした。

紹介された本（発表順）

- 『ジーンズの少年十字軍』テア・バックマン作 西村由美訳（岩波書店）
- 『オー！ファーザー—a family—』伊坂幸太郎著（新潮社）
- 『論語なうー140字でわかる孔子の教えー』牧野武文著（マイナビ）
- 『トリツカレ男』いしいしんじ著（新潮社）



緊張気味のバトルヤー

第2部の講演会では、法政大学社会学部教授で翻訳家の金原瑞人先生をお招きし、「翻訳って本当にだいじょうぶ？翻訳物の本当の楽しみ方」という講演テーマでお話いただきました。第1部で紹介された本について、それぞれに関係するエピソードや見所を会場の聴講者とやりとりしながらお話されたり、翻訳本の魅力を楽しく話されたり、中高生向けのお薦めの本をたくさん紹介していただきました。



講演をする金原先生

参加者は115名で、アンケートの感想もビブリオバトル・講演会ともに好評でした。また、バトルヤーのみなさんから「また参加したい」とうれしい発言もありました。今回のバトルヤーは全員女子でしたが、次は男子の挑戦もお待ちしています。（第2回は平成29年3月予定）

「子ども読書の日」記念講演会 「五味太郎さんと楽しいお話」

平成28年4月16日 教育センター「ぎんが」にて

世田谷区立図書館では、「子ども読書の日」を記念し、毎年子どもの本に携わっている著名な方々をお招きして、講演会をおこなっています。今年は、絵本作家の五味太郎さんをお呼びしました。

講演では、五味さんの子どもや絵本に対する思いなどを自由にお話していただきました。

本の楽しみについて「他の人と、どう読んだか、わいわいと語り合うことが本の楽しみ。それは絵本も同じ。」など子どもや絵本に対する思いが伝わってきました。



おはなしをする五味太郎さん

参加者からは「親として子どもとの関わり、社会との関わりを考えさせられるよい機会になりました。」「話の種類がとても豊富で、大変楽しかったです。たくさんの気づきを頂けた。」など、五味さんのお話が刺激になったという感想が多数ありました。

中央図書館の「おはなしのへや」に、素敵な五味さんのサイン色紙を飾っています。



平成28年度 文部科学大臣表彰で世田谷区立図書館が表彰されました

「子どもの読書活動推進フォーラム～読書で広がる子供たちの未来～」(文部科学省主催)

平成28年4月23日 国立オリンピックセンターにて

子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について、優れた実践を行っている図書館(優秀実践図書館)として「世田谷区立図書館」が表彰を受けました。これからも、世田谷区のすべての子どもたちが身近な場所で読書に親しむことができるよう、子どもサービスに取り組んでいきます。

世田谷区立図書館を代表して、
會田中央図書館長が表彰状を受け取りました。

表彰状は、中央図書館1階にありますので、どうぞご覧ください。

(右の写真)

表彰状を受け取る會田中央図書館長
と表彰状

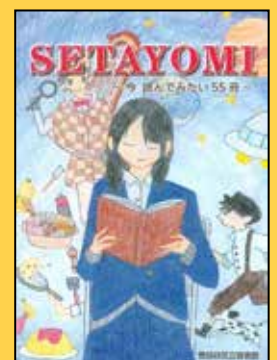


中高生向けの新しいブックリストをつくりました！

その名も **「SETAYOMI」～今、読んでみたい55冊～**

平成22年から26年の5年間に出版された本の中から図書館員が厳選しておすすめするブックリストです。本はうれしい時、楽しいとき、つらい時、悲しい時に、そっと心に寄り添ってくれるもの。本自体は中高生むけに書かれたものが多いですが、大人が読んでみても読み応え抜群です！

配布場所：世田谷区内の図書館・図書室・図書館カウンター（7月上旬配布予定）





新着図書案内



『ビジネスマンのための新しい童話の読みかた 人生の壁を破る35話』

上阪徹著 (飛鳥新社)

ビジネスマンのあなた！
童話や昔話は子どもが読むものだと思いませんか？

この本は「うさぎとカメ」、「桃太郎」など、誰もが知っているような童話から、あまり知られていないものまで35の話
をビジネスの切り口から見つめます。そこから童話に隠されたエッセンスを探り出し、その教訓を仕事…そして人生に活かしていこう！というものです。

大人になるにつれて、物事を複雑に考えてしまいがちですが、仕事や人生をよりよくするのは童話・昔話が教えてくれるシンプルな原則だと、この本は気づかせてくれます。

【請求記号9090う (児童研究書)】



『はじめて学ぶ方言学』

井上史雄／木部暢子編著
(ミネルヴァ書房)

本書は、日本の方言に関する28のテーマについて、各テーマの第一人者が最新の情報を取り入れて、やさしく解説したものです。

各章では、まず冒頭の「この章で学ぶこと」で理解のポイントを示しています。続いて本文で、詳しい内容がわかりやすく説明されています。章末には読書案内や参考文献も掲載されています。

言語学的な内容の他に、方言を理解できない医療関係者と高齢者の問題を取り上げた章や、「方言エール」に代表される方言の拡張活用を分析した章もあり、興味深い本です。

【請求記号8180い】



『世界の不思議な図書館』

アレックス・ジョンソン著 (創元社)

「本さえあれば、そこは図書館になる。」

本書は、モンゴルのラクダの図書館、電話ボックスの図書館、個人宅の夢のライブラリーなど、世界中の個性あふれる図書館を写真で紹介しています。その他ボート、駅、ホテル、庭、公園、海辺などさまざまな場所やサイズの図書館があります。写真を通じてそうした図書館そのものの魅力と同時に、そこで本を読む人々の姿や図書館に携わる人々の姿にも魅力が感じられる1冊です。

【請求記号0120し】



『シェイクスピア大図鑑』

スタンリー・ウェルズほか著 (三省堂)

『美しい「知の図鑑」シリーズ』の1冊です。本書は、シェイクスピアの人生を3つの時代に分けて、作品の内容を詳しく紹介している図鑑です。各々の作品のあらすじを図解で紹介するなど写真や図を豊富に使って解説しています。

今年2016年は、シェイクスピアが亡くなってから400年の記念の年です。シェイクスピアの作品の世界を、ビジュアルな本書で味わってみてはいかがでしょうか。

【請求記号9325う】



レファレンス

～こんな相談がありました～



レファレンスでしばしば登場する質問に、くずし字（崩し字）に関するものがあります。

「先祖を弔う催しを開くにあたり、戸籍謄本で名前を当たっていたところ、記載された（墨と筆で手書きされた）字が読めないので調べたい」、「中国の書を書写しているが、何の字を書いているのかわからない」、「この日本画のタイトルと作者を知りたい」という問い合わせの際、作者を突き止める手がかりとして署名を解読することもあります。こういうときに出勤するのが『くずし字解読辞典』『変体かな字典』『書体字典』などです。

これでお役に立てればいいのですが、辞典に載っている文字すら、「あ」とも「な」とも読めたりして首をひねるばかりです。資料のほかに「書」の心得も必要なのではないでしょうか。特定は非常に難しいです。

コラム・・・図書館職員としてうれしかったできごと



「一」のみで七十二頁 諸橋の偉業しづかに図書館の書架

（富山 小林圭子）

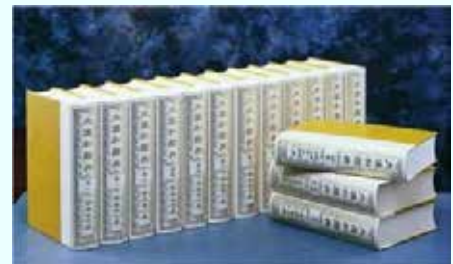
この短歌は、平成27年度（第17回）NHK全国短歌大会の大賞作品五首の中の一首です。

ご存知の方も多いかと思いますが、諸橋とは、漢学者諸橋轍次を指し、図書館員もレファレンス等で大変お世話になっている有名な『大漢和辞典（全13巻）』〔大修館書店〕の著者です。もちろん、当館でも地下の辞書コーナーにあります。（厚さ8cm、重いです。）

これを詠んだ小林圭子さんは、よく漢字を調べられるのでしょうか。そして私が嬉しかったのは図書館がこの方の生活の一部になっていると感じたからです。この短歌を教えてくれた元図書館員の先輩は、「漢字文化を生きる私たちにとってこの「諸橋漢和辞典」があるということは大きな財産であり、有り難いことです。

それは、家庭にはないし、書店にはそうそうないけれど、図書館にはあるという事が文化の厚さとか、知識が継承されていることの象徴だと思う。」と。

まだ手にされたことがないという方はぜひ漢数字の「一」から始まる『大漢和辞典』第一巻の1ページをご覧ください。（W）



図書館からのお知らせ♪



絶賛受付中!

中高生のための「POP講座」

自分の好きな本のPOPを実際に作成してもらいます。今年度も2会場で開催します。

日時・会場 ①8月26日(金)午後2時～4時
砧図書館地下集会室

②8月27日(土)午後2時～4時
教育センター3階(中央図書館)

講師 押樋良樹氏(図書館コミュニケーションデザイナー)

申込方法 電話またはFAXで中央図書館まで(先着各20名)

★もうひとつ中高生向け

講演会「真夜中のディズニーで考えた働く幸せ」
講師：鎌田洋氏(『ディズニーキセキの神様が教えてくれたこと』など著書多数)

日時：8月28日(日)午後2時～3時30分

会場：教育センター3階(中央図書館)

申込：8月1日(月)から募集開始

申込方法：電子申請、FAX等

*詳細は「区のお知らせ8月1日号」、ちらし(7月中旬配布予定)をご覧ください。

落語と読書

落語家の入船亭扇治さんをお招きして、落語の独演会を行います。

日時：9月17日(土)午後2時～3時30分

会場：教育センター3階(中央図書館)

申込方法：8月15日(月)から9月8日(木)までに、電話またはFAXで「せたがやコール」へ。(氏名(ふりがな)・住所・電話番号を明記)先着120名。

せたがやコール 電話：5432-3333

FAX：5432-3100

学校おはなし会ボランティア養成講座(初級)

学校でおはなし会ボランティアをしている方・これから始める方を対象にした講座です。

日時：10月～12月のうち6日間

いずれも午前中

会場：教育センターと区内にある5会場

*申込方法など詳細は、「区のお知らせ9月1日号」やちらし(8月配布予定)をご覧ください。



大人のためのおはなし会

「おはなしたまごの会」さんが語る昔話

<日時>

・偶数月の第3金曜日

午前10時30分～12時

次回…8月19日(金)、10月21日(金)

<会場>

教育センター3階「こぐま」

(中央図書館)



朗読のひとときを

朗読を楽しむ会「言の葉」さんによる朗読

<日時>

・奇数月の第1金曜日

午後1時30分～2時30分

次回…9月2日(金)、11月4日(金)

<会場>

教育センター3階「おおぐま」

(中央図書館)

世田谷区立図書館初の「日本図書館協会認定司書」が誕生しました!

これは、司書の専門性の向上に不可欠な図書館の実務経験や、実践的知識・技能を継続的に修得した者を、公立図書館及び私立図書館の経営の中核を担いとする司書として認定する制度です。今回、区立図書館で初めて、桜丘図書館職員・沖野雄一が認定されました。(詳細は『図書館雑誌 2016年5月号』に掲載されています)

編集後記

この4月から旧まちかど図書室4室は、地域図書室として図書館情報システムに対応したサービスを開始しました。これにより、図書館カウンター2ヶ所に続いて世田谷区立図書館ネットワークに加わりました。これからもサービス向上の取り組みにご期待ください。(H)